



写真：
専門家による技術者
へのトレーニングの
様子
(ワークショップ in
ウズベキスタン)

目次

■ 特集

- 地震にまけない学校計画 (SESI)
地震に対する子供たちのための災害対策
- 報告1: ワークショップ in フィジー
 - 報告2: ワークショップ in ウズベキスタン

■ 報告

- 報告: 地震にまけない住宅計画 (HESI)
APEC 防災ワークショップ
【2007年8月15日のペルー沖地震から1年】

■ 新スタッフ紹介:

- 中村隼人

特 集

地震にまけない学校計画 (SESI)

地震に対する子供たちのための災害対策

国連地域開発センターでは、現在、アジア太平洋地域において、「地震に対する子供たちのための災害対策」のプロジェクトを通して、「地震にまけない学校計画」を促進しています。他のインフラ施設と同様に、学校は地震による被害や倒壊の危険にさらされています。地震多発地域での安全ではない学校は、地震により施設そのものが倒壊などの被害を受けるだけでなく、何百もの子供たちの命を失う原因ともなります。安全な学校は子供たちの大切な命を守り、地域の人々にとっての安全な避難所となり、災害時にコミュニティの中に落ち着きをもたらす一助となります。さらに、耐震性のある学校を建築することは、コミュニティに災害対策の重要性をメッセージとして広めることにもなります。学校防災の主旨は、子供たちを守るだけでなく、災害対策をコミュニティに伝えることでもあります。

活動

1) 学校の耐震補強

各国のプロジェクト対象地で約10の学校の耐震性を分析し、その中でも特に地域固有の典型的な構法で建てられた学校を耐震補強します。

2) コミュニティの能力構築

現地の石工や技術者には学校の耐震補修工事の間にも現場でトレーニングを実施します。また、エンジニアが耐震設計や住宅建築の方法をトレーニングを通して学べる機会を提供します。

3) 防災教育と意識啓発

生徒や教師を対象としたガイドラインや生徒向け教材やポスターを開発し、広範囲に配布します。また、防災を学校のカリキュラムに取り入れる為に、現行のカリキュラムを分析・評価します。

4) 知識と経験の普及

安全な工法に関するガイドラインの配布、技術者へのトレーニングマニュアル、教育、防災の啓発に関するパンフレットによって、学校や建物の地震に対する安全性への要求が高まることが予想されます。一般市民を対象とした、地震災害に対する啓発や地震の危険測定法に関する相互教育ソフトが、その利用と普及を促進させるため各地域の言語に翻訳され出版される予定です。

担当者: スペディ、藤枝

報告1:

ワークショップ in フィジー

日時: 2008年9月9日~10日

場所: フィジー スバ市

南太平洋地域諸国における「学校の安全と防災」についてのワークショップが、フィジー、サモア、ソロモン、トンガ、バヌアツ5カ国からの代表者及び関係者出席のもと開催されました。ワークショップ開催国のフィジーはUNCRDの「地震にまけない学校計画」プロジェクト、つまり学校の耐震補強、能力の構築、防災教育とその普及を柱とするプロジェクトを推進する国の一つであります。

学校は子どもたちの命を守るだけでなく、地域全体が防災に対する知識を学び、それらを普及させていく中心的な場である、ということを各国が改めて認識し、以下に述べる行動計画において賛同するとともに実行していくことを誓いました。

- ・全ての学校を対象に災害に対するその安全性を査定する。
- ・建築基準規範にそって学校を補強し、安全を確保する。
- ・学校のカリキュラムに防災教育を取り入れ、災害に迅速に対応できるようにする。
- ・防災意識を広める。
- ・学校の防災対策活動を地域につなげていく。
- ・国家、地域レベルで学校の安全と防災に関するネットワークを構築する。

報告2:

ワークショップ in ウズベキスタン

日時: 2008年9月17日~18日

場所: ウズベキスタン タシケント市

中央アジア地域ワークショップの一環として開催された会議には、中央アジア4カ国(ウズベキスタン、カザフスタン、タジキスタン、キルギスタン)からの代表団、また、支援機関、国連関係者、NGOなど10名以上が参加し、「地震にまけない学校 (SESI)」をテーマに話し合いが行われました。

これまでUNCRDが取り組んできたSESIにおける成果を共有するだけでなく、中央アジア地域各国が現在、様々な形で実施している「学校の安全」への取り組みを分かち合う良い機会となりました。特に、学校の安全を重要な要素と位置づけ、「学校教育の発展5カ年計画」を実施しているウズベキスタンの事例は、他の中央アジア地域諸国が自国の政策及び計画の枠組をつくるうえでの一助となるでしょう。

特集 地震にまけない学校計画 (続き)

中央アジア諸国ですでに発行されている子供向けの教材に対する問題点もいくつか指摘されましたが、各地域、現地の言語に即した包括的学校安全計画作成の必要性や、ウズベキスタンでのSESIプロジェクトや今回のワークショップの成果をまとめ、「学校の安全」を近隣諸国に発信していくという提案もなされ、今後も各国の積極的な取り組みが期待されます。



フィジーの学校の子供たち



ウズベキスタンの子供たち

報告

報告：地震にまけない住宅計画 (HESI)
APEC防災ワークショップ

【2007年8月15日のペルー沖地震から1年】

日時：2008年08月12日～14日

場所：ペルー リマ市

2007年8月17日ので起きたペルー沖大震災の一周年記念としてペルー政府とアジア太平洋経済協力 (APEC) の共同によりアジア太平洋での防災計画をテーマにした会議がリマで開かれた。「地震にまけない住宅計画」(HESI) プロジェクトの対象国であるペルーにおいて様々な活動を行っているUNCRDもこの会議に参加しました。

2日間にかけて、APECの15カ国の地域の専門家と意見交換しながら、過去災害に見舞われた地域 (インドネシア・ペルー・中国) の復興状況の把握やその災害の教訓を踏まえて今後の防災について話し合われました。

この会議ではUNCRD兵庫事務所が発行された書物を紹介し、HESIの活動を広める良い機会となりました。

担当者：安藤、スベディ、中村

活動記録 (2008.06 - 2008.09)

2008/06/01-10

CBDM: コミュニティーワークショップ、ファーストエイド
トレーナートレーニング (カトマンズ、ネパール)

2008/06/11-14

CBDM: コミュニティーワークショップ、ジェンダーに配慮
したコミュニティ防災 (カトマンズ、ネパール)

2008/09/09-10

SESI: 地域ワークショップ 太平洋地域における学校防災と
防災教育 (フィジー、スバ)

2008/09/18-19

SESI: 地域ワークショップ アジアにおける学校防災と防
災教育 (ウズベキスタン、タシケント)

2008/08/12-14

HESI: APEC防災ワークショップ 【2007年8月15日のペ
ルー沖地震から1年】 (ペルー)

2008/08/24-29

HESI: IDRC(国際防災会議) (スイス、ダボス)

詳しくはこちらのホームページをご覧ください。

<http://www.hyogo.uncrd.or.jp/jp/events/index.html>

新スタッフ紹介

中村隼人、研究助手

横浜国立大学国際社会科学
研究科前期課程修了(国際経済
法修士)、英国キール大学法学部
修了(ジェンダー・セクシュアリ
ティ・人権法修士)。日本の防災
コンサルティングに関するNPO
にて研究員、ジュネーブ/東京
にベースを置く国際人権団体に
てアシスタント、インドの草の根女性団体において国際アシ
スタントとして従事。国際赤十字赤新月社連盟(IFRC)の世界災害
報告2007「災害と差別」の編纂にも参加。趣味は料理、旅行。



お知らせ

●シンポジウムのご案内

2008「地震にまけない学校計画」国際防災シンポジウム
地震にまけない世界へ向けて - 学校の安全をめぐる、世界と
日本の動き」

開催日時：2008年11月6日(木)13:30 - 17:30

会場：よみうり神戸ホール

神戸市中央区栄町通1丁目2-10 読売神戸ビル2階

参加費：無料 日英同時通訳付き

(定員200名 - 定員になり次第締め切ります。事前にお申し
込みください。)

●新しい出版物

2008 Reducing Vulnerability of School Children Earth-
quakes (英語)

2007 Gender in Urbanisation and COmmunity Based
Disaster Management Hyogo Trust Fund (HTF)
English Proceedings of Three Country Workshops
with DVD (英語)

2008 Gender Perspectives in Community Based
Disaster Management (CBDM)(英語)

2008「持続可能なコミュニティに向けて」ジェンダーに配
慮したコミュニティ防災国際防災シンポジウム
2008年1月18日：議事録(日本語、英語)

* その他の出版物のお問い合わせはUNCRD 兵庫事務所まで

お問い合わせ

ご意見・ご要望等がございましたら下記までご連絡下さい。

国際連合地域開発センター 防災計画兵庫事務所

〒651-0073

兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 ひと未来館5階

TEL: 078-262-5560 (代表) FAX: 078-262-5568

HP: <http://www.hyogo.uncrd.or.jp>

E-mail: rep@hyogo.uncrd.or.jp

担当者：吉川、藤枝